

令和3年度

ながわか 小鹿野町立長若小学校

聖火リレー体験



全学年

特色

- 本校卒業生が聖火ランナーに選出され、地元秩父を走行することとなった。そこで、講師として招聘し、児童に聖火トーチに触れる機会を設けることで、母国開催のオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
- 走者の卒業生から、聖火ランナーに応募した動機や実際に走った感想を聞く。その後、実際に本物のトーチに触れ、児童間で聖火リレーを体験する。

児童の感想

- ニュースで見ていた聖火リレーのトーチが目の前にあって嬉しかった。実物に触れることができ、貴重な経験ができた。
- 人生で一回あるかないかの体験をすることができて良かった。トーチを持った時は、とても緊張した。

成果

- 「百聞は一見に如かず」の言葉とおり、本物に触れることで児童はとても感動していた。母国開催の強みを生かし、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができた。
- 困難を乗り越えて聖火ランナーの大役をやり遂げた卒業生の話を聞き、諦めずに努力することの大切さを学んだ。